



# 泗水小だより

学校教育目標「自ら考え なかまと高め合う 泗水小」



泗水小学校  
学校だより No19  
文責 芹川博文  
9月22日(金)

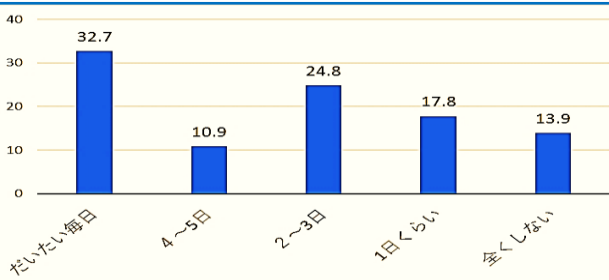
## スマホ時代だからこそ運動を

～「体育以外で運動をしていない」3割強～

下のグラフによると、泗水小でも3割以上が「体育の授業以外で1日または全く運動をしていない」ことが分かり大変心配な状況です。これは、コロナや熱中症対策による制限も影響していると考えられますが、いかにゲームやスマホの時間を減らし、生活の中に運動を取り入れていくかが大切かと思われま

す。徒歩での通学や外遊びもお勧めです。様々な状況もあるかと思いますが、歩くことや外に出ることで、基礎体力の向上にもつながることで

しょう。  
学校の授業以外で、週に何日くらい運動していますか。  
※泗水小現6年生の昨年の調査結果



### R5 スポーツテストの結果

※泗水小現6年生、県平均はR4の6年生平均

	握力	反復横跳び	シャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
6年男子	19.1	45.6	55.7	9.2	157.1	24.6
県平均	20.2	44.1	55.8	9.1	161.4	24.7
6年女子	18.0	44.5	50.9	9.3	144.4	14.2
県平均	19.9	41.7	44.5	9.3	151.4	15.5

### 運動で集中力もアップ!

先週に続き本の中から紹介させていただきます。体力だけでなく、脳にも効果があり、集中力がアップすること。意識して「ちょっとした運動」を取り入れたいものです。

約100人の小学5年生に4週間毎日運動をさせ、実験を始める前と終了してから一連の心理テストを行った。すると、集中力が増ただけでなく、一つのことだけに注意を向けるのも上手くなっていた。しかも、情報処理まで速くなった。驚いたのは、ほんの少しの運動でいいという点だ。運動は教室内で行われ、時間は毎日たったの6分間だったのだ。授業中に短い休憩をとって、体操の動画を流した。子どもたちはその動きを真似て、筋肉の協調を鍛えた。(後略)

(アンデシュ・ハンセン著「スマホ脳」より)

## 没頭する学びの追求

～ 国語の研究授業で学び合い ～

「かなり難しい問いに挑戦しています。」そう子どもたちに声掛けしたのは、6年3組担任の越猪先生。9月21日(木)、本校3回目の大研を行い、国語の授業を全職員で参観しました。主人公の心情変化について、根拠をもとに考える姿が強く印象に残りました。

本校では、「学びの保障と学ぶ楽しさを味わえる国語科授業」を研究しています。

6年生のがんばる姿を、「いつか、下級生にも見せたい」と思う、そんな真剣で深い学びでした。



## 朝から「がまだせタイム！」

～ 対話力と仲間力の向上 ～

「今回のお題は、カレーライスとハンバーグは、どちらが好きですか？その理由も添えて討論しましょう！」朝から軽快な放送が流れ、各教室で意見交換が始まりました。

泗水小学校では、授業前の朝の時間を使って「がまだせタイム」という活動が定期的に組み込まれています。友達と意見を交換することで対話力を高め、お互いの思いを知り合う時間「仲間力」が向上する効果が期待されます。「あなたはどう思うか」の問いに答える力を育てていきたいと思



## 前期最後の1週間 日課が変わります

10月2日(月)からの1週間は、日課変更により、下校時刻が早くなりますのでお知らせします。詳しくは、各学年の時間割でご確認ください。

### 【下校時刻】

4時間授業の場合：午後1時10分

5時間授業の場合：午後2時35分

休み時間などを短くして実施し、この日課のメリット、デメリットを検証し、今後に生かして参ります。